C事 説 明 書

ガスビルトインコンロ

型 式

DG32Q1V

誤った機器の設置を行った場合の危害・損害の程度を、次のように区分しています。 いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

この表示を無視して、作業を誤った場合に作業者が、またはその作業後の不具合によって使用者 が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。

⚠注意

この表示を無視して、作業を誤った場合に作業者が、またはその作業後の不具合によって使用者 が軽傷を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

お願い

使用者が安全に快適に使用していただくために理解していただきたい内容です。



禁止



必ず守る



分解禁止

設置される方へ(この「工事説明書」を設置前に必ずお読みください。)**-**

⚠注意



設置するときは、可燃物との距離を確実に離す

必ず守る 火災の原因になります。

- ・周囲の壁が不燃材料以外で、トッププレートに貼り付けの防火性能評定品ラベルに記載されている離隔距 離を確保できない場合は、絶対に設置しないでください。
 - どうしても設置しなければならない場合は、必ず別売の防熱板を取り付けてください。 防熱板を取り付けなかった場合、火災のおそれがあります。
- ※仕上げの構造が確認できない場合は、必ず防熱板を取り付けてください。 \rightarrow 4 \sim 5 ページ
- ・この機器は、単独設置タイプのためオーブンとの接続はできません。



機器を安全にご使用いただくため、この工事説明書をよく読 ● んでから、有資格者による指定された設置を行う



建築基準法、当該地区の市・町・村の条例、消防法、ガス事 業法、液化石油ガス法、「ガス機器の設置基準および実務指針」 必ず守る (一般財団法人日本ガス機器検査協会刊)に従う





機器の上には絶対にのらない

また、トッププレートに強い衝撃を与えたり、過度な荷重を かけない

ごとくやトッププレートが変形し、異常過熱や火災の原因に なります。



⚠注意



設置で必要なところ以外は絶対に改造・分解は行わない

→ <u>一酸化炭素中毒のおそれがあります。また、火災の原因になるおそれがあり</u>ます。

お願い

- ・乾電池を抜かずに点火/消火ボタンを「点火の状態」で放置しないでください。
- ・乾電池を使用しているガス機器を大型ゴミなどで廃棄される場合は、必ず乾電池を取り外してください。 そのままにしておきますと思わぬ事故になることがあります。
- ・この工事説明書に基づいて、設置されていることを確認してください。
- ・設置が終了したら、設置後の点検確認のチェックリストに基づいて、必ず再確認してください。
- ・この工事説明書の記載内容から外れた設置が原因で生じた故障および損傷は、保証期間内であっても保証 の対象とならないので注意してください。
- ・設置終了後、保証書(取扱説明書に記載)に必要事項を記入し、必ずお客さまに渡してください。
- ・取扱説明書に従って、お客さまに機器の操作方法など、取り扱い説明をしてください。

○もくじ

同こん部品 ・・・・・・・・・・・・・・	2	機器の設置 ・・・・・・・・・ 6~10
各部のなまえ・・・・・・・・・・・・・	3	ガス接続・ガス配管工事・・・・・・・ 11
設置前の注意・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4	設置後の点検確認・・・・・・・・ 11
設置場所の確認・・・・・・・ 4~	·5	試運転・・・・・・・・ 11

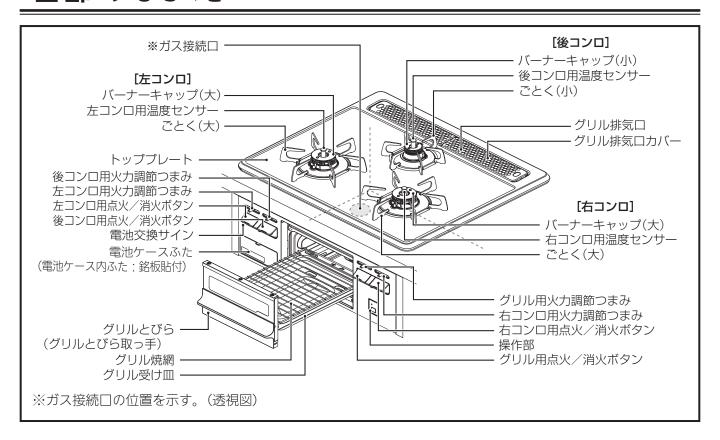
同こん部品

◎同こん部品・付属品の確認

次の部品が同こんされています。不足のないことを確認してください。

部品名	形 状	個数	部品名	形 状	個数
バーナーキャップ(大) <左右コンロ用>		2	グリル焼網		1
バーナーキャップ(小) <後コンロ用>		1	グリル受け皿		1
ごとく(大) <左右コンロ用>		2	トッププレート 固定用ネジ×2		1
ごとく(小) <後コンロ用>		1	お試し用乾電池 (単1形マンガン乾電池)	6	2
サイドモール(左) サイドモール(右)		各1	取扱説明書(保証書付)	取扱網書 (保証書付)	各1
グリル排気口カバー		2	工事説明書	NOTICE OF STREET	

各部のなまえ



設置前の注意

◎設置する機器の確認

・設置する機器が、ご使用になる目的、用途に適合していることを確認してください。

銘板(電池ケース内ふたに貼付)に表示して あるガスに適合していることを確認する

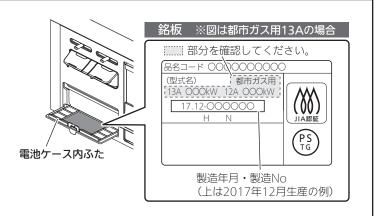
必ず守る火災・不完全燃焼・異常点火のおそれや、 機器が故障する原因になります。

ガス種の異なる地域へ転居した場合は、 部品交換や調整が必要のため注意する

必ず守る 爆発や不完全燃焼の原因になります。

この機器は家庭用の調理以外の用途には使 用できないため、用途を確認し設置する

^{必ず守る} 火災・不完全燃焼・機器の故障の原因にな ります。



設置場所の確認

◎防火上の離隔距離

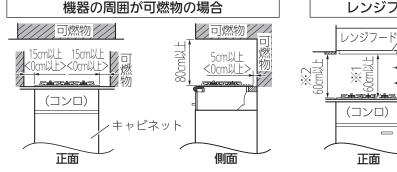
- ・機器を設置する周囲の壁などが、防火上安全な場所かまたは、防火上有効な間隔を確保することが できる場所に設置してください。
- ・この機器は防火性能評定品です。

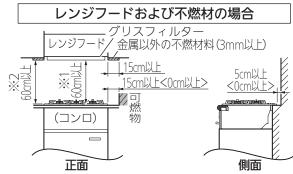
⚠注意

周囲の障害物、可燃物との離隔距離が確保されていることを確認する

火災の原因になります。 必ず守る

※機器の周囲の可燃物(可燃材料、難燃材料または、準不燃材による仕上げをした建物の部分も含む)との離隔距 離は、トッププレート上部に貼り付けの防火性能評定品ラベルに基づき離隔距離を確保してください。





- ※< >内は、周囲の壁を不燃材料で有効に仕上げた部分もしくは、防熱板を取り付けたときの寸法です。
- ※1 レンジフードファン以外の場合は80cm以上。
- ※2 不燃材料がない場合もしくは、金属以外の不燃材料の厚みが3mm未満の場合は、80cm以上。
- ◎上記離隔距離がとれない場合や、仕上げの構造がわからない場合は、必ず防熱板による防火 措置を行ってください。(5ページ参照)



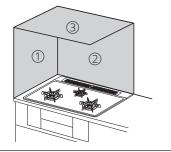
防熱板(別売部品)は、必ず指定のものを使用する

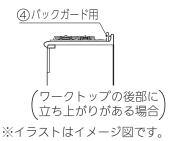
防熱板に同こんされている「取付説明書」に従って正しく取り付ける。

^{必ず守る} 防<u>熱板を取り付けないと、火災の原因になります。</u>

- 防熱板は4種類用意しています。
- ・用途に適した防熱板を選んでいただき、正しく取り付けてください。
- ※取り付け方法は別売の防熱板に同こんされている「取付説明書」をご覧ください。

	コード番号	高さ(mm)	奥行(mm)	幅(mm)
1	0706528(DP0128)	590	_	535
2	0706530(LP0130)	590	_	600
3	0706529(DP0129)	_	550	900
4	0705477(DP0101)	90	_	600





※0705477(DP0101)はワークトップ後部の立ち上がり用

防熱板のお求めは販売店に、防熱板に関するご不明点は、弊社窓口(取扱説明書の裏表紙連絡先参照)にお問い合 わせください。

・設置場所をお決めになるときは、次の事項をよく確認してから決めてください。



設置するガス機器および同一室内に設置してある他のガス機器のガス消費量に対し、十分な換気設備が ある場所に設置する

^{必ず守る} 他のガス機器と同<u>時に使用した場合、不完全燃焼による一酸化炭素中毒のおそれがあります。</u>



設置場所を決めるときは、お客さまとよく相談し、安全な場所で、周囲に危険物・可燃物などがなく、 火災の危険がない場所に設置する



水平で丈夫な場所に設置する

必ず守る



保守メンテナンススペースが確保されていることを確認する

<u>設置後、トラブルの原因になったり、点検・修理に支障をきたします。</u> 必ず守る



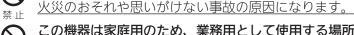
引火性の危険物(ガソリン・灯油・ベンジン・接着剤など)や、業務用薬品(アンモニア、硫黄、塩素、 エチレン化合物、酸類などの腐食性薬品)を周囲で保管したり、取り扱う場所には設置しない



ガス機器は、ガス工作物、電気工作物などの他の設備に悪影響を与えない位置に設置する



棚の下など落下物の危険がある場所や樹脂製の照明器具、ガス湯沸器の下には設置しない



この機器は家庭用のため、業務用として使用する場所に設置しない

著しく機器の寿命が短くなります。

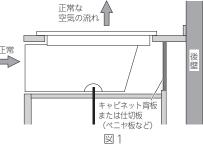


キャビネットを背板などでふさぐ

必ず守る

コンロ後方がふさがれていない場合は、ベニヤ板 やアルミテープなどでふさいでください。(図1) コンロ後方がふさがれていないと、コンロと 後方空間や外気との間で異常な空気の流れが 生じる場合があります。(図2)

コンロの炎がゆらいだり、消えたり、異常燃 焼や機器焼損のおそれがあります。





※別売の仕切板セット(0513B01(DP0723)、0513C01(DP0724))を用意 しています。仕切板セットのお求めは販売店に、仕切板セットに関するご不明 点は、弊社窓口(取扱説明書の裏表紙連絡先参照)にお問い合わせください。



ワークトップの前面部と機器本体上面との間を化粧板などで閉塞しない

不完全燃焼の原因になります。

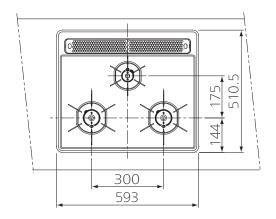
- ・上記のほか設置場所について、次のことを守ってください。
 - ・冷暖房装置の吹き出し口近くや、強い風が吹き込む場所に設置しない。
 - ・奥行き600mm以上のワークトップに設置する。



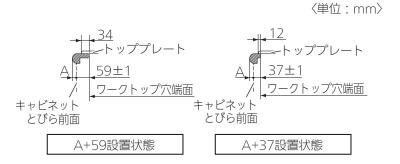
機器の設置

◎機器の取り付け

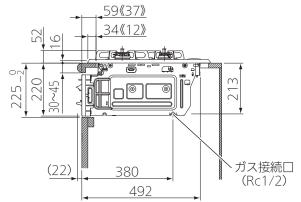
[標準設置図・機器寸法図]



※《 》内の寸法はA+37設置寸法です。







◎ワークトップおよびキャビネットについて

- ・ワークトップ材は熱硬化性樹脂化粧板(JIS K6903)または同等以上の材料としてください。
 - ・ワークトップの表面が二ス引きのものは変色しますので使用しないでください。
- ・機器を組み込むために、下図の寸法穴に加工してください。
 - ・穴あけ寸法は、公差内になるように加工してください。公差外になると取り付けができなくなります。

⚠注意

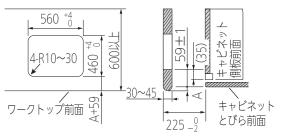


45mmを超える厚いワークトップには設置しない

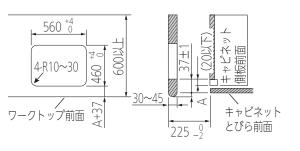
ワークトップの温度が上がり焼損のおそれがあります。

また、不完全燃焼の原因になります。

標準(A+59)穴あけ寸法



A+37穴あけ寸法

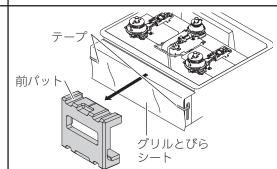


〈単位:mm〉

穴あけ寸法はA+59が標準です。ただし、設置フリータイプですのでワークトップ 穴あけ寸法はA+59、(A+45)A+37のどちらでも設置できます。

[機器本体の取り付け] 作 業 手 順 説 明 図 ガス接続口位置は 1. キャップの取り外し 3・6ページ参照 ・機器底部左奥側のガス接続口に取り付けてあるキャップを取 り外してください。 《取り外したキャップは不要です。》 機器底部左奥側 2. 前パットの取り外し ・前パットを手前に引き抜いてください。 お願い

・その他のテープ・グリルとびらシートは、機器本体のはめ込みが終わるまで、取り外さないでください。 取り外すと、グリルとびらが開き、設置時にキズがついたり、破損する原因になります。



シールパッキン

パネル面

設置用取っ手

3. 機器本体のはめ込み

- ・機器中央部の設置用取っ手を持ち、機器本体をキャビネットに、はめ込んでください。
- ※はめ込み時はワークトップやパネルなどをキズつけないように注意してください。
- ※機器周囲に取り付けてあるシールパッキンを取り外さないでください。

△注意



絶対にガス配管やバーナーなどを持たない

ガス漏れや異常燃焼の原因になります。



機器を設置したあと、設置用取っ手を手前に倒す

シガラる トッププレートが変形する原因になります。

4. サイドモールの取り付け

- ・サイドモールを機器本体前部サイドの凸部(切り込み)にまっすぐに差し込み、奥にあたるまで差し込んでください。
- ※サイドモールは、(左) (右) がありますので、右図の通りに取り付けてください。

《サイドモールの取り付け忘れ注意!》

※イラストはわかりやすくするために、コンロ本体のみにしています。

サイドモール (右) 凸部(切り込み)

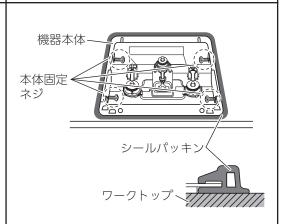
5. 機器本体の固定

- ・機器本体の位置決めは、機器本体側面の本体固定ネジ(4本)でワークトップに固定してください。
- ※機器前面とキャビネット前面とのおさまり具合を確認しながら位置決めを行ってください。
- ※機器周囲に取り付けてあるシールパッキンが外れたりしていないか確認してください。外れたり、かみ込んだりしている場合は図のようにワークトップに密着するように確実に取り付けてください。



本体固定ネジを締め込みすぎない

<u>ワークトップを壊したり、コンロが変形したり、</u> トッププレートが浮く原因になります。



[部品の取り付け]

作 業 手 順	説 明 図
1. バーナーキャップの取り外し ・トッププレートを取り付ける前にバーナーキャップを外してください。	
 2.トッププレートの取り付け 1.トッププレート後部に貼り付けているトッププレート固定用ネジ ②を外してください。(このネジは、3.で使用します。) 2.トッププレートの後部を浮かしながら、機器本体前部のツメとトッププレート裏面のツメをひっかけ、トッププレート後部の穴と機器本体のネジ止め用の穴位置をあわせるようにトッププレートを機器本体に取り付けてください。 3.1.で外したトッププレート固定用ネジ ②で、トッププレートを機器本体後部に固定してください。 《必ず手動ドライバーを使用!》※電動ドライバーは、ネジが利かなくなります。 お願い・トッププレートの取り付けは確実に行い、浮きがないことを確認してください。 	トッププレート (裏面ツメ部: 2カ所) バーナー(大) 機器本体 前部ツメ 機器本体 前部ツメ
※イラストはわかりやすくするために、透視図にしています。	トッププレート裏面ツメ

作 業 手 順

説 明 図

ごとく

バーナーキャップ

爪部-

位置を

合わせる

3. バーナーキャップ・ごとくの取り付け

・バーナーキャップ取り付け後、ごとくを正しく取り付けてください。

◎バーナーキャップの取り付けかた

・バーナーキャップの爪部が、点火プラグの真上にくるように合わせ、浮きがないように取り付けてください。 (点火プラグに衝撃をあたえないようにしてください。)

◎ごとくの取り付けかた

・ごとく内側の凸部(前後2カ所)を、トッププレートの凹部 (前後2カ所)に入れて、浮きがないように取り付けてください。



誤った取り付けかた(浮き、裏返し、ズレなど)で使 必ず守る 用すると、鍋などが不安定になり、傾いたり、倒れ たりし、<u>やけど、点火不良、不完全燃焼、変形の原</u> 因になります。

また、取り付けの際に衝撃を加えると、トッププレートに<u>キズがつくおそれがあります。</u>

バーナーキャップは正しく取り付ける

誤った取り付けかた(浮き、裏返しなど)で使用すると、 必ず守る ・点火しない場合があります。

・炎のふぞろいや逆火で<u>不完全燃焼、一酸化炭素中毒のお</u>それや変形の原因になります。

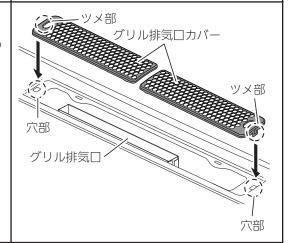
- ・機器の中に炎がもぐりこんで、焼損する原因になります。
- 機器寿命が短くなるおそれがあります。

世部 点火プラグ ごとくの浮き ごとくの裏返し バーナーキャップの バーナーキャップの 裏返し

一凹部

4. グリル排気口カバーの取り付け

・グリル排気口カバーのツメ部をグリル排気口の穴部に合わせて取り付けてください。



作 業 手 順

説 明 図

5. 乾電池の取り付け

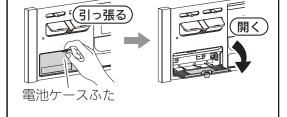
お試し用乾電池(単1形:1.5V)を2個使用します。

[電池ケースふたの開けかた]

・電池ケースふたのつまみを引っ張り、矢印の方向に開けてください。

お願い

・電池ケースふたは約90°まで開きます。 それ以上は無理に開かないでください。 また無理な力を加えないでください。 電池ケースふたが<u>破損する原因になります。</u>



[乾電池の取り付けかた]

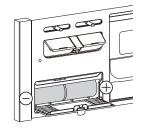
・乾電池(単 1 形: 2 個) の⊕⊖を確かめ、乾電池を組み込んでください。

⚠注意



乾電池の組み込む方向を間違えない

<u>発力</u> 発熱や液漏れの原因になります。



[電池ケースふたの戻しかた]

・電池ケースふたを元通りに閉めてください。

お願い

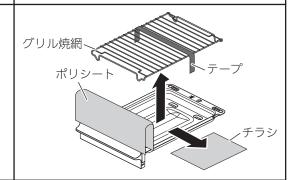
・電池ケースに水や異物が入った場合は、ふき取ってきれいにしてください。

電池機能不良の原因となります。



6. グリル内包装材の取り外し

・グリルとびらを引き出し、グリルとびらのポリシート・ テープ・チラシを取り除いてください。



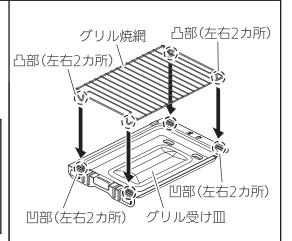
7. グリル焼網の取り付け

- ・グリル焼網の凸部(前後、左右4カ所)をグリル受け皿の凹部(前後、左右4カ所)に入れて、取り付けてください。
- ※イラストはわかりやすくするため、グリルとびらを透過させています。

お願い

・グリルとびらが閉まりにくい場合やこすれる音がした場合は、グリルとびら、グリル受け皿、グリル焼網が正しく取り付けされていません。

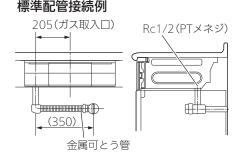
そのまま押し込むと、<u>変形や損傷の原因</u>になりますので、再度正しく取り付け直してください。



ガス接続・ガス配管工事

◎ガス配管工事

- ・機器へのガス接続に必要な資格について
 - ・都市ガス用機器の場合、内管工事士、簡易内管施工士、ガス機器設置スペシャリスト、ガス可とう管接 続工事監督者のいずれかの必要な資格を有する者が施工すること。
 - ・LPガス用機器の場合、液化石油ガス設備士の資格を有する者が施工すること。 (ガス機器設置スペシャリストは「燃焼器用ホース」の交換のみ施工可能) なお、液化石油ガス設備工事を行う事業者は、事業所ごとに所在地を管轄する都道府県知事に「特定液化 石油ガス設備工事事業開始届書」を提出する必要があります。
- ・機器を設置する場所にガス栓がない場合や、あっても適切でない(位置・口径)場合は、新設または 交換をしてください。
- ・ガス接続方法
 - ・ガス接続は金属管、金属可とう管または、機器接続ガス栓を 使用してください。
 - ・ガス接続は下側の場合はRc1/2(PTメネジ)です。
- ・接続・工事後のガス漏れ確認
 - ・ガス接続完了後は必ず漏えい検査をしてください。



設置後の点検確認

・設置が終了したら、チェックリストに基づいて、必ず再確認を行ってください。

チェックリスト

	点検項目	点 検 内 容	参照ページ	チェック
	ガ ス 種	銘板は使用するガス種に適合していますか。	4	
機	同こん部品	正しく取り付けられていますか。また不足はありませんか。	2 • 7~10	
機器お	可燃物との離隔距離	可燃物との離隔距離、火災予防上の措置は十分ですか。	4~5	
かよ	設 置 条 件	障害物などとの離隔距離は十分ですか。	4~5	
び	保守・管理上の空間	点検・修理に必要な空間はありますか。	5	
その	水 平 設 置	水平に設置されていますか。	5	
周辺	安 定 設 置	強固に設置され、ガタツキはないですか。	5	
辺	シールパッキン	シールパッキンは確実に取り付けられていますか。	7	
	給 排 気	十分給排気できる場所に設置されていますか。	5	
+	ャビネット	キャビネットに背板がありますか。(機器後方に穴があいていないか。)	5	
ガ.	ス接続・ガス配管工事	接続は正しく施工され、ガス漏れはありませんか。	11	
ラ	ベ ル 貼 付	接続具の施工者ラベルおよび連絡先のステッカーを貼り付けましたか。	_	·
そ	の他	グリル庫内に同こん物が残っていませんか。	_	

試運転

- ・正しく設置されていることを確認してから、機器のガス栓を開き、取扱説明書の「使いかた」に基づいて 点火および試運転を行ってください。
- ・試運転終了後、長期間使用しないときはガス栓を閉めておいてください。